

令和6年中における少年非行の概況

1 概況

令和6年中における刑法犯少年の検挙・補導人員は145名で、前年に比べ36名増加しています。

犯罪少年は123名で、前年に比べ30名増加、触法少年は22名で、前年に比べ6名増加しています。

また、成人を含めた全刑法犯検挙人員に占める少年の割合は12.0%で、前年に比べ2.1ポイント増加しています。

刑法犯少年の再非行率は29.7%で、再犯者率は30.9%でした。

(①参照)

2 特徴的傾向

(1) 中学生、高校生による非行が6割

中学生・高校生による非行が58.6%を占めています。

(①参照)

(2) 粗暴犯と窃盗犯が大きく増加

粗暴犯の検挙・補導人員は37名で、前年に比べて23名増加しています。

窃盗犯の検挙・補導人員は78名で、前年に比べて11名増加しています。

(②参照)

(3) 初発型非行は増加

動機が単純で、犯行が比較的容易な非行のことを初発型非行といいます。

初発型非行は73名と前年に比べて14名増加しており、全体の50.3%を占めています。

(③参照)

(4) 薬物乱用少年の検挙補導は減少

令和6年中における薬物乱用少年の検挙・補導人員は5名で、前年に比べ2名減少しています。

令和元年以降、少年の薬物事犯は、大麻が主流になっています。

(④参照)

(5) 不良行為少年は増加

不良行為少年の補導人員は677名で、前年に比べ111名増加しています。

行為別では、

- ・飲酒 38名(前年比 +2名)
- ・喫煙 187名(前年比 +65名)
- ・深夜はいかい 285名(前年比 +58名)
- ・その他 167名(前年比 -14名)

で、喫煙、深夜はいかいが大きく増加しています。

(⑤参照)

(6) 福祉犯被害少年は減少

少年の福祉を害する犯罪被害により保護した少年は58名(うち女子43名)で、前年に比べ14名減少しています。

① 刑法犯少年の検挙・補導状況

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数
犯罪少年	96	63	47	93	123	30
触法少年	21	26	19	16	22	6
合計	117	89	66	109	145	36
小学生割合	8.5%	15.7%	21.2%	8.3%	6.9%	-1.4P
中学生割合	15.4%	20.2%	31.8%	16.5%	31.0%	14.5P
高校生割合	35.0%	27.0%	22.7%	45.0%	27.6%	-17.4P
全刑法犯に占める少年の割合	10.2%	7.6%	6.5%	9.9%	12.0%	2.1P
再非行率	29.9%	20.2%	16.7%	19.3%	29.7%	10.4P
再犯者率	35.4%	25.4%	19.1%	21.5%	30.9%	9.4P

② 検挙・補導の罪種別

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数
凶悪犯	6	9	1	1	5	4
粗暴犯	17	10	9	14	37	23
窃盗犯	75	43	38	67	78	11
その他の刑法犯	19	27	18	27	25	-2
合計	117	89	66	109	145	36

③ 初発型非行の状況

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数	
窃盗	万引き	29	14	17	22	35	13
	オートバイ盗	4	1	0	4	9	5
	自転車盗	17	16	12	25	22	-3
占有離脱物横領	6	2	2	8	7	-1	
合計	56	33	31	59	73	14	

④ 薬物乱用少年の検挙・補導状況

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数
麻薬等	0	0	0	0	0	0
大麻	4	5	1	7	5	-2
覚せい剤	0	0	0	0	0	0
シンナー	0	0	0	0	0	0
合計	4	5	1	7	5	-2

⑤ 不良行為少年の補導状況

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数
飲酒	21	19	38	36	38	2
喫煙	88	84	90	122	187	65
深夜はいかい	106	150	197	227	285	58
その他	101	107	170	181	167	-14
合計	316	360	495	566	677	111

⑥ 福祉犯被害少年

年次	令和2年	令和3年	令和4年	令和5年	令和6年	増減数
被害少年	42	39	49	72	58	-14
うち女子	33	29	42	60	43	-17
うちインターネット利用	8	10	9	16	9	-7